



神社入り口横の石版

このように記載されています。(一部現在の言葉に変換しました)

千代田神社の由来

千代田神社は長禄年間神霊に依り太田持資道灌が御霊を千代田の御城に祭り鎮守とす。

徳川綱吉の時太田の旧臣長野亦四郎氏詞を奉して小傳馬町に遷座す。

是後奉仕せる社人困窮して他に社地を譲る。時にたびたび異変があり神慮なりと畏礼
天明年間旧地に建立し現在に至る。 大正12年9月震災にて消失す。昭和2年区画整理依
り当所に替地を得て安鎮す。然るに昭和20年2月戦禍にて再度消失す。漸次再建せしも
今度諸人の力を到し浄財を受け更に新殿を設立せり

茲に沿革を記す

昭和33年11月吉日

小伝馬町2丁目町会